

有明工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	体育Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	0036		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	創造工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	最新スポーツルール(大修館書店)					
担当教員	塚本 邦重					
到達目標						
1.集団行動については、集団としての秩序が保たれることができる。 2.新体力テストについては、体力、運動能力の現状を把握できる。 3.ハンドボールについては、相手との攻防を展開することができる。 4.剣道については、相手との攻防に応じ て稽古することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	すばやく行動し、リーダーとして集団としての秩序を保つことができる。		集団の一員として、集団としての秩序を保つことができる。		集団の一員として、集団としての秩序を保つ弊害となってしまう。	
評価項目2	自身の強い体力、高い運動能力の現状を把握できる。		自身の体力、運動能力の現状を把握できる。		自身の体力、運動能力の現状を把握できない。	
評価項目3	技能を高め、あらかじめ作戦を立てて、攻防を展開することができる。		相手との攻防を展開 することか でできる。		相手との攻防を展開 することか でできない。	
評価項目4	観見の目付けを生かし、相手との攻防に応じ て稽古することができる。		相手との攻防に応じ て稽古することか でできる。		相手との攻防に応じ て稽古することか でできない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 A-1						
教育方法等						
概要	運動についての科学的理解に基づき、合理的な練習によって運動技能を高めると共に、生活における運動の意義についての理解を深め生活を健全にし、明るくする能力や態度を養うことができる。 運動における競争や共同の経験を通して、公正、協力、責任などの態度を養い、社会生活における望ましい行動の仕方か でできる。 ハンドボールは、チームの課題や自己の能力に応じ て技能を高め、作戦を生かした攻防を展開して試合か でできる。 剣道は、自己の能力に応じ て技能を高め、相手の動きに対応した攻防を展開して稽古や試合か でできる。					
授業の進め方・方法	実技中心の授業を進めていく。 理解度テストは、授業中に小テスト形式で 行う。					
注意点	実技試験の成績50%、理解度テスト20%、授業中の態度等の平常点を30%の比率で、総合的に評価する。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	説明 集団行動		授業における注意事項を知ることか でできる 集団で の秩序を保つことか でできる	
		2週	新体力テスト		体力、運動能力の現状を把握することか でできる	
		3週	新体力テスト		体力、運動能力の現状を把握することか でできる	
		4週	ハンドボールパス		ボールの操作、場面に 応じ て活用する身体 の扱いを理解・実践 することか でできる	
		5週	シュート		様々なシュート、場 面に 応じ て活用するボ ールの扱いを理 解・実践すること か でできる	
		6週	連携フーレー		連携からのパスワ ーク、フックフ ーレーを理解・実 践することか でできる	
		7週	チームフーレー		攻防の集団的技能 を理解・実践する ことか でできる	
		8週	チームフーレー		攻防の集団的技能 を理解・実践する ことか でできる	
	2ndQ	9週	試合		個人的、集団的技 能を生かし、試 合を進めること か でできる	
		10週	試合		個人的、集団的技 能を生かし、試 合を進めること か でできる	
		11週	試合		個人的、集団的技 能を生かし、試 合を進めること か でできる	
		12週	試合		個人的、集団的技 能を生かし、試 合を進めること か でできる	
		13週	試合		個人的、集団的技 能を生かし、試 合を進めること か でできる	
		14週	試合		個人的、集団的技 能を生かし、試 合を進めること か でできる	
		15週	試合		個人的、集団的技 能を生かし、試 合を進めること か でできる	
		16週	実技試験			
後期	3rdQ	1週	剣道 説明 基本的技能		授業における注意 事項を知ること か でできる 礼法、 構え、体捌きを 理解・実践する ことか でできる	
		2週	基本的技能		竹刀捌き、体捌 きを理解・実践 することか でできる	

		3週	基本的技能	面、小手、胴の打ち方、受け方を理解・実践すること かゝてゝきる
		4週	基本的技能	面、小手、胴の打ち方、受け方を理解・実践すること かゝてゝきる
		5週	対人的技能	仕掛けて行く系統の技を理解・実践することかゝてゝ きる
		6週	対人的技能	連続の技を理解・実践することかゝてゝきる
		7週	対人的技能	引き技を理解・実践することかゝてゝきる
		8週	対人的技能	応しゝ 技、返し技を理解・実践することかゝてゝきる
	4thQ	9週	稽古	打突部位への打突を理解・実践することかゝてゝきる
		10週	稽古	打突部位への打突を理解・実践することかゝてゝきる
		11週	稽古	打突部位への打突を理解・実践することかゝてゝきる
		12週	稽古	打突部位への打突を理解・実践することかゝてゝきる
		13週	試合	相手の動きに対応した攻防を理解・実践すること かゝてゝきる
		14週	試合	相手の動きに対応した攻防を理解・実践すること かゝてゝきる
		15週	実技試験	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	30	0	0	100
基礎的能力	70	0	0	30	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0